

課題・背景

「千葉市行動計画」で示された「2020年の千葉市の姿」を目指すため、それを担う「ひとづくり」を進める取組みとして「千葉市オリンピック・パラリンピック教育実施方針」を策定し、具体的な事業を学校等で展開している。

<千葉市オリンピック・パラリンピック教育を通じて目指すべき人間像>

- ①スポーツに親しみ、知・徳・体の調和のとれた人
- ②多様性を尊重し、共生社会実現に貢献できる人
- ③自ら学び行動できる国際感覚を備えた人

<千葉市オリンピック・パラリンピック教育の4つの方向性>

1 大会機運の高揚



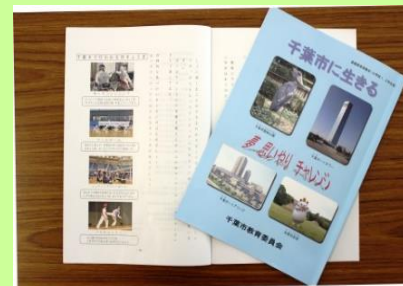
オリパラ応援作品の掲出

2 体力向上・健康づくり



授業でのパラスポーツの実施

3 多様性理解教育



千葉市独自の道徳用教材
「千葉市に生きる」

4 国際理解教育



オリパラ英語教材での授業

東京2020大会の延期と新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対応

事業名	令和2年度当初予定	対応
学校連携観戦プログラムによるパラリンピック観戦	市立全小学校5・6年生、中学校1年生など約28,000人の児童生徒が幕張メッセ開催のパラリンピック4競技を観戦する。	県と協議し、より多くの児童生徒が2021年に開催されるパラリンピック4競技を観戦できるよう計画する。
競技用車いすを活用した授業を実施	競技用車いす108台を12台1セットとして、小中学校132校に巡回し、授業で活用する。	各学校の年間指導計画の見直しをふまえ、車いすの巡回計画を変更した。小中学校約60校で活用する。
教員のパラスポーツに関する研修の実施	実技研修会を年4回実施する。	全実技研修会を中止とした。パラスポーツの活動例等の資料を各学校に配付した。
パラスポーツ交流会	9月にボッチャを通じた交流会を開催し、市内の小・中・特別支援学校計17校が参加する。	令和3年1月に延期した。小・中・特別支援学校計13校が参加して実施する。
都市ボランティアの育成・実践	配置別研修、リーダーシップ研修を経て、東京2020大会で活動する。	モチベーション維持のため、メールマガジンにより情報提供するほか、実地研修等を実施する。

令和元年度以降の主な取組内容・方針(1)

1 大会機運高揚事業

事業名	令和元年度	令和2年度	令和3年度以降
応援作品の制作	全小中特別支援学校169校で、千葉市開催のパラリンピック競技に参加する選手や国の応援ポスター・のぼり旗を制作した。 千葉都市モノレールの車内やきぼーるなどに掲出し、市民全体の大会機運を醸成した。	前年度制作したポスターやのぼり旗を各区のコミュニティセンターや美術館に掲出し、子どもや市民の機運を高める。	・パラリンピック大会観戦に向けた応援作品を制作する。 ・制作した作品を応援国の競技団体や大使館等を通じて選手に届ける。
応援給食メニューの提供	オリンピック・パラリンピック市内開催競技にゆかりのある国の家庭料理を学校給食で提供した。 令和元年7月には、テコンドーゆかりの韓国家庭料理を市立全小中学校で提供した。	令和3年2月に、シッティングバレーボールゆかりのオランダの家庭料理を提供予定。	令和3年7月には、市内開催競技にゆかりのある国の家庭料理を提供予定。



応援作品【ポスター】の掲出
(千葉都市モノレールの車内)



応援作品【のぼり旗】の掲出
(高洲コミュニティセンター)



テコンドー発祥の地「韓国家庭料理」を学校給食で提供(市立全小中学校)

令和元年度以降の主な取組内容・方針(2)

2 体力向上・健康づくり事業(1)

事業名	令和元年度	令和2年度	令和3年度以降
体育・保健体育における パラスポーツ の実施	市立全小中学校において、 体育・保健体育の授業でパ ラスポーツ(ゴールボール、 シッティングバレーボール 等)を実施。	【実施可能な学校で実施】	
競技用車いす を活用した 授業を実施	競技用車いすを12台1セッ トで50校に巡回。 (小学校38校、中学校12 校)	【実施可能な学校で巡回予定】	1年に1回、全小中学校に競 技用車いすを巡回予定。
教員のパラス ポーツに関す る研修の実施	教員実技研修の実施 (全6研修 計933名参加) オリパラ教育実践報告会 の実施(約100名参加)	【パラスポーツの活動例等の資 料を配付】	初任者研修を含め年数回実 施予定。



シッティングバレーボールの学習



車いすバスケットボールの学習



車いすバスケットボールの教員実技研修会

令和元年度以降の主な取組内容・方針(2)

2 体力向上・健康づくり事業(2)

事業名	令和元年度	令和2年度	令和3年度以降
小学校陸上大会にパラリンピアン等を招聘	小学校陸上大会において、陸上競技のパラリンピアンを招聘。		
パラスポーツ大会の観戦	パラスポーツ等の国際大会の観戦 (小学校72校、中学校7校計79校 約6,800人観戦)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校連携観戦プログラムによるパラリンピック観戦【延期】 ・ジャパンパラ車いすラグビー大会を観戦予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内で行われるパラスポーツ大会を観戦予定。



小学校陸上大会でのパラリンピアンによるデモンストレーション



ゴールボールの国際大会でエスコートキッズとして参加

令和元年度以降の主な取組内容・方針(3)

3 多様性理解教育事業

事業名	令和元年度	令和2年度	令和3年度以降
パラリンピック関連教材を使った道徳等授業の展開・充実	①道徳教育用教材「千葉市に生きる」の活用と作成。 (中学1年生用教材作成) ②国際パラリンピック委員会公認教材「I'mPOSSIBLE」を活用した学習の推進。	「千葉市に生きる」 (中学2年生用作成)	「千葉市に生きる」 (中学3年生用作成)
パラスポーツ交流会	小・中・特別支援学校の児童生徒がパラスポーツを通して交流する「パラスポーツ交流会」の企画及び参加校の募集。	令和3年1月に千葉ポートアリーナで実施予定。 (小学校9校、中学校3校、養護学校1校参加予定)	実施予定。



国際パラリンピック委員会公認教材「I'mPOSSIBLE」の資料
(全国の小中高等学校に送付)



「I'mPOSSIBLE」と「千葉市に生きる」を関連させた道徳の学習



ボッチャを通じての交流
(千葉ポートアリーナ)

令和元年度以降の主な取組内容・方針(4)

4 国際理解教育事業

事業名	令和元年度	令和2年度	令和3年度以降
千葉県オリパラ英語教材を活用した外国語学習	オリンピック・パラリンピックに対する興味関心を高めながら、実際に外国人とコミュニケーションを図る場面を想定した英会話学習を推進。		



千葉県オリパラ英語教材「おもてなしカード」



千葉県オリパラ英語教材をアレンジして活用



オリンピック・パラリンピックの観戦に関する英会話の学習

令和元年度以降の主な取組内容・方針(5)

◎市長部局との連携

事業名	令和元年度	令和2年度	令和3年度以降
パラスポーツ大会の観戦	パラスポーツ等の国際大会の観戦 (小学校72校、中学校7校、計79校 約6,800人観戦)	ジャパンパラ車いすラグビー大会を 観戦予定。	東京2020大会 以降も引き続き 実施予定。
障害者アスリートによる 学校訪問	小・中学校47校で実施。 市立の全小・中学校で実施完了。	小中学校20校で実 施予定。	
福祉講話の実施	小学校38校で実施。	小学校40校で実施 予定。	



パラスポーツ大会の観戦



障害者アスリートの学校訪問



福祉講話でのガイドウォーク体験

令和元年度以降の主な取組内容・方針(6)

◎ボランティアに関する取組み

事業名	令和元年度	令和2年度	令和3年度以降
ボランティア体制構築	<ul style="list-style-type: none"> ●チーム千葉ボランティアネットワーク※運営 		
	<small>※東京2020大会を契機に設立した市民のボランティア活動を支援するネットワーク。大会のレガシーとして取組を継続</small>		
	<ul style="list-style-type: none"> ●都市ボランティアの育成・実践 ①国際大会での実践活動 ②県内共通研修 ③採用 	<ul style="list-style-type: none"> ●都市ボランティアの育成・実践 ①自主企画交流会 ②実地研修 	<ul style="list-style-type: none"> ●都市ボランティアの育成・運営 (～令和3年9月) ①配置別・リーダーシップ研修 ②東京2020大会期間中の都市ボランティア運営
都市ボランティア公開講座 (市立中学・高校向け)	<ul style="list-style-type: none"> ●公開講座の実施 (平成30・令和元年度で、市立の全中学・高校57校で実施完了) ・都市ボランティアに関する説明や障害者サポート体験等を通じて、生徒たちのボランティアや障害者に対する理解を深めた。 		<ul style="list-style-type: none"> ●大会を契機としたボランティア文化の醸成とレガシー化 ①チーム千葉ボランティアネットワークへの都市ボランティアの参加促進 ②市民のボランティア活動を支援する体制の強化
国際交流ボランティア育成	<ul style="list-style-type: none"> ●通訳ボランティアグループによる自主的な活動の促進 ・通訳ボランティア・フォローアップ講座の開催 ・国際交流ボランティア・リーダー会議実施(ボランティアが積極的・自立的に活動を展開できるよう中心となるリーダーを育成) 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流ボランティア・リーダー会議実施 (情報共有/ワークショップ・講座等実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流ボランティア・リーダー会議実施 ・地域における多文化共生の推進

令和元年度以降の主な取組内容・方針(7)

◎「まちづくり」に関する取組み(競技会場周辺のバリアフリー整備)

令和元年度

【海浜幕張駅前広場】

- ・エレベーター、エスカレーター等 新設



【駅から会場までの歩道】

- ・交差点部の歩道の段差解消
- ・視覚障害者誘導用ブロックの敷設替え



令和2年度

【海浜幕張駅南口ロータリー】

- 身体障害者用乗降場の整備等
(令和2年7月末完成)

